

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



妙義山 日暮の景



収穫を迎えるネギ畑

あなたと議会を結ぶ 確かな情報と信頼

主な 内容

- 新しい議会構成が決まる 2～3
- 一般質問 4～6
- 予算決算質疑 7～9
- 審議結果 10～11
- シリーズ地域おこし協力隊 12

下仁田町議会
ホームページ
QRコード



新しい議会構成が決まる

正副議長就任あいさつ

住民福祉向上のため専心努力する

■議長 島崎紘一

9月定例会に於いて、議会構成が行われ、議長に就任いたしました。微力ではありますが、地方自治振興と住民福祉向上のため、皆様方の声を反映し、町のチエック機関として、専心努力を尽くし、議会運営に取り組んで参りたいと心を新たにしている所です。

止まらない少子高齢化、人口減少、防災減災対策としての荒廃しつつある山林や耕作放棄地問題、空き家対策等々町の抱える課題は山積しております。今こそ執行と議会がお互いに切磋琢磨し、一体となつて、町民各位の信頼に応えるよう、積極的な行財政改革と、諸問題を直視して知恵を出さなくてはなら

ないと考えます。そのためにも皆様方のご意見に耳を傾け、地域が抱える問題解決、要望実現のために、取り組んで参ります。今後とも議会になお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶いたします。

- ▼開会日(11日)
会期を25日までとする決定を行い、正副議長選任、常任委員会等構成を決定。
- ▼議案の上程(13日)
報告4件、教育委員会委員の任命、条例の一部改正等17議案を上程・採決し、令和元年度一般会計補正予算(第2号)等14議案を予算決算特別委員会に、陳情1件を社会経済常任委員会に付託。
- ▼予算決算特別委員会(17、18日)
- ▼社会経済常任委員会(19日)
付託された案件の審査。
- ▼最終日・採決・一般質問(25日)
令和元年度一般会計補正予算(第2号)等14議案を可決認定し、陳情1件を採択。
- また、2人の議員が、町政の様々な課題について一般質問を行った。



町活性化のため精一杯取り組む

■副議長 千野榮治

この度、改選後の議会において、副議長に選任されました。島崎議長を補佐しつつ、活発な論議で、住民福祉向上のため、精一杯努力を致す所存であります。議会と執行は車の両輪に例えられます。緊張感を保ちながら、議論を深めていきたいらと考えます。

少子高齢化が急速に進む中で、課題山積でございますが、町の活性化のため、取り組んで参ります。今後とも、議会に一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶いたします。

◆監査委員の選任

地方自治法の定めにより、議会から佐藤公夫議員が選任、同意されました。



総務常任委員会

総務課・企画課・住民税務課・会計課・議会事務局・教育課の所管に関する事項を調査、審査します



小井土光弘 委員 千野榮治 委員 佐々木信也 副委員長 岡田武二 委員長 島崎紘一 委員 岩崎正春 委員

社会経済常任委員会

福祉課、保健課、農林課、商工観光課、建設水道課の所管に関する事項を調査、審査します



堀口 博志 委員 木暮 弘元 委員 岡田 邦敏 副委員長 佐藤 博 委員長 大手 博幸 委員 佐藤 公夫 委員

議員役職一覧表

(令和元年9月11日現在)

議長：島崎 紘一 副議長：千野 榮治 監査委員：佐藤 公夫													
● 委員長 ◎ 副委員長 ○ 委員													
委員会等	氏名	小井土光弘	大手博幸	佐々木信也	岡田邦敏	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	岡田武二	佐藤公夫
総務常任委員会		○		◎			○		○	○		●	
社会経済常任委員会			○		◎	○		●			○		○
議会運営委員会					○		◎	○	○		●	○	
予算決算特別委員会		○	○	○	●	○	○	◎	○	○	○	◎	○
広報発行特別委員会		○	◎	○	○			●			○	○	
少子高齢人口対策特別委員会		○	○	○	○	○	●	◎	○	○	○	◎	○
下仁田南牧医療事務組合議員			○			○	○	○		○		○	
甘楽西部環境衛生施設組合議員				○	○				○	○	○		○
富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合議員								○		○		○	
国民健康保険運営協議会委員					○	○		○					

一般質問 町政を問う

■ 質問事項一覧 >>> (傍聴者数 1 人)

岡田邦敏 議員 30 分

〈 質 問 の 相 手 〉

- | | |
|----------------------|-----|
| 1. 防災対策とドローン | 町 長 |
| ①ドローンの活用について | |
| ②諸費用について | |
| 2. 職員満足度と住民サービス その後は | 町 長 |
| ①福利厚生の実度について | |
| ②職場内教育と職場外教育について | |

佐藤 博 議員 45 分

〈 質 問 の 相 手 〉

- | | |
|------------------|-----|
| 1. 財政改革 | 町 長 |
| 荒船の湯の運営について | |
| ①来客の状況について | |
| ②閉館に至る経緯について | |
| ③売却交渉の現状について | |
| ④契約の延長・運営の継続について | |

※次ページからの質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。

会議録の詳細は、概ね 11 月上旬から下仁田町議会ホームページに掲載しますのでご覧ください。
下仁田町議会ホームページは、インターネット検索サイトで「下仁田町議会」と検索して下さい。

一般質問とは

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行者に求め、町が町民のための適切な町政運営を進めているかチェックするものです。

問 防災対策とドローン

答 近隣の市町村で活用している

議員 災害発生時ドローン

が有効とされているが、近隣の市町村での活用状況は。

総務課長 甘楽町が1台所

有し、観光やイベント用として活用、南牧村も1台所有し、ケーブルテレビの撮影等に活用。富岡市は民間業者と協定を締結し、災害時にドローンを飛行させることになっています。

議員 山間部における土砂

崩れや大型台風などによる河川の状態確認などに有効かと思うが。

総務課長 災害現場等を空撮することは有効な手段



など課題もあると思います。有効性は十分わかりますので、町独自で所有するか、または民間会社と協定を結んで運用するのか、検討をしたい。

など課題もあると思います。有効性は十分わかりますので、町独自で所有するか、または民間会社と協定を結んで運用するのか、検討をしたい。



ドローンの飛行の様子

問 職員満足度と住民満足度の

答 職場環境を整備し住民満足度アップへ

議員 保養施設の利用状況

等は。

総務課長 保養施設での宿泊費の補助、またレジャー施設の割引等、各種サービスが受けられます。職員全体の30%弱が利用しています。

議員 男性職員の育児休業

は適切にとれる環境にあるのか。

総務課長 女性職員は取

得してはいますが、男性職員の取得実績はありません。近年では男性が育児に積極的に参加する風潮もありますので、男性職

プを図っていきます。

議員 組織で最も大事な報告・連絡・相談の実践はよくなったか。

総務課長 毎月開催の課長等連絡会議や課内会議等で情報の共有を図っていますが、今後も迅速なる報告・連絡・相談等を行うよう周知していきます。

議員 町長から見て職員は

町長 報告・連絡・相談は組織の中で一番大事なことで、私も最初から徹底してやってきました。その甲斐あってかなりよくなったと思いますが、やはり大事なことを一つでも落とすと大変なことになるからです、さらなる徹底をしていきたいと思っています。

議員 職員のスキルアップを図り、住民満足度の向上を目指して下さい。

総務課長 従来の階層別研修の他に、今年度は民間外部講師による接遇研修を、係長以下75名が受講しました。今後は、管理職を対象とした研修を計画し、職員のスキルアップ



民間外部講師による接遇研修

問 荒船の湯の入館者数は？

答 30年度は3万6千348人



佐藤 博 議員

000万円です。また、ボイラーの改修をすれば概算で、約1,800万円かかります。民間法人への施設の売却に向け交渉しておりますが、結論に至っていないことから閉館となります。

議員 近年の入館者状況は。

商工観光課長 平成29年度3万6,310人、うち町民は8,023人、30年度は3万6,348人、うち町民は7,563人です。本年度は前年並みの状況です。

議員 前年対比38名増、入館料17万円増。閉館の理由は。

商工観光課長 平成9年8月に開館、22年が経過、この間厳しい経営状況が続く、開館からの赤字補填は総額約2億7,

は速やかに交渉していきたいと思えます。

議員 運営再開は、いつになるのか。

商工観光課長 譲渡に関する募集要項には、引渡し日から1年以内に再開することと定めております。

議員 応募から8ヶ月が経過しても結論が出ない。期限を切って交渉すべき。

問 無償貸与の募集を

答 売却の交渉中です

議員 原点に立って？無償貸与の募集をすべき。

町長 あくまで交渉中であります。

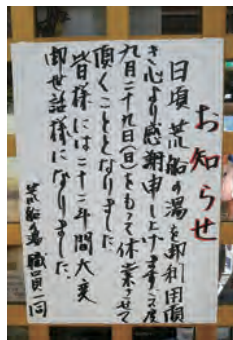
議員 水道料500万円は町に入る。無償で貸与すれば財政改革に繋がる。

また、ボイラーの改修に1,800万円という根拠は

商工観光課長 使用中のボ

商工観光課長 迅速に取り組みたい。契約に至らなかつたら原点に立って考えたい。

荒船の湯玄関先に張り出された閉館のお知らせ



根全体の谷の部分の修理すると200万円、必要最小限ですと37万円です。

議員 9月5日からの10日間で、存続を望む署名が400人を超えた、反響が大きい。ご存知か。

町長 報告を受けてます。

議員 閉館の協議は。

商工観光課長 閉館のみを案件としての協議はしていませんが、指定管理者の指定期間を9月30日までの6ヶ月間とする当初予算を議決いただいた、9月30日をもっての閉館は了解いただいたと認識している。

議員 一旦閉館すると再度の開館は容易ではないと思われる。運営者が決まるまでの間、直営での運営の考えはないのか。平成8年に開館以来23年間、観光を売りにしてきた町のイメージアップに貢献してきた、閉館は町のイメージダウンに繋がることを指摘しておく。

議員 ボイラーはバックアップ用と併せて2台ある、1台が故障しても運営には支障ないそうです。また、雨漏りがあるそうだが。

商工観光課長 瓦屋根の谷の箇所が銅ぶきです。屋

予算決算特別委員会

▼主な質疑

◆令和元年度一般会計補正予算(第2号)

◆平成30年度一般会計歳入歳出決算認定

【歳出】

問 ガス事業清算積立金の額はいくらになるのか。

答 公共施設等整備基金に3億4,934万7,722円積立て見込み。

問 消防費で、充電式チェンソー5台購入と団員への講習等について伺いたい。

答 各分団へ配備し、団員全員対象の講習会を実施し、安全対策を講じる。

問 充電式でなく燃料式の方が良いのでは。

答 燃料式は数カ月未使用の場合、エンジンが掛からなくなることから、充電式を選択したが、再度確認する。

問 防犯カメラ設置工事費は、購入かレンタルか。また、耐用年数等はどうか。

答 町内12カ所に設置予定。購入で対応。耐用年数は10年、5年間の保証付。

【歳出】

問 「地域づくり支援事業補助金」と「下仁田町公会堂等施設整備事業補助金」の説明を。

答 「地域づくり支援事業補助金」は、自然保護・環境対策、子育て支援、安心・安全の地域づくり、文化振興が対象、「下仁田町公会堂等施設整備事業補助金」は、改修、新築が対象。

問 町単独補助金を数年前に調査し、設立時期不明の補助金もあり、見直し指摘をしたが、今年度も見直しを行っているか。

答 今年中に、行財政改革の一環として、再度見直しを行う。

問 乗合バスで、ある住民が運転手から「乗るのが遅い」「遅いならタクシーを利用してくれ。」と強い口調で言われたとのこと。

答 委託先の上信タクシー

本社やバス事務所に連絡、文書での注意を行い、改善したい。

問 荒船風穴に係る人件費等経費総額はいくらか。

答 世界遺産関連事業決算総額は約6,150万円。

国庫事業や工事費を控除した純ソフト事業は、約1,459万円で、見学料や運用収入等を差し引くと約402万円。荒船風穴基金積立は、ふるさと納税からの繰入分にあたるが、約311万円なので、実質約91万円程度の持ち出しである。

問 風穴のガイドは、モニター設置による説明だけでいいのではないか。

答 富岡製糸場と絹産業遺産群は、文化遺産のため、詳しい解説なしでは理解しづらい。また、ユネスコへは世界遺産条約に基づいて、自治体の直営管理運営をすることで登録申請をしてきた。他構成資産と横並びで、自治体側で案内することとしていたため、民間委託等も検討したが難しい。他構成市町は、伊勢崎市が6名の非常勤、下仁田町は昨年度の4名から、今年

度3名の臨時職員、藤岡市は非常勤7名で対応。見学者の方へ安全かつわかりやすい解説に努めていきたい。



荒船風穴

問 荒船風穴定点・温湿度観測業務委託は必要なのか。

答 温湿度13カ所、定点観測19カ所を実施。冷風が流れているかの確認や、明治大正時代の操業時も温湿度計測をしているため、同様に計測を継続。また、石積がはらんでいいる場合や危険箇所把握等の観点から、定点観測を実施しているが、荒船風穴整備委員会からも求められているため、継続実施をしている。

問 集落高齢者等タクシー

利用券交付状況について説明されたい。

答 平成30年度は、延べ434人2,527枚の利用。実申請者は82人で、青倉方面の利用者が一番多く、利用率では、馬山方面4割、栗山9割弱である。

問 交付枚数増加はありがたいが、2割の未利用者がいる。子ども達が送迎する人もいると思うが、今後、免許返納者も増える。タクシー券だけでよいかも含めて検討されたか。

答 地区からの要望も出ているので、前向きに検討する。

問 下仁田南牧医療事務組合補助金の財源構成は。

答 3億4,772万円の補助金の財源構成は、過疎対策事業債7,820万円、その他の財源として、ふるさと下仁田応援基金3,220万円、一般財源2億3,732万円である。一般財源のうち、普通交付税算入分1億6,915万円、特別交付税算入分3,855万円を除いた2,962万円が実質的

な持ち出しであるが、普通交付税、特別交付税算入分を差し引いた財源としては1億4,002万円となる。ここに過疎債ソフト分7,820万円、ふるさと下仁田応援基金3,220万円を充当しているので、財政当局としては、過疎債ソフト分と基金は、他事業に充当可能である事から1億4,002万円が実質的な一般財源という認識でいる。

問 過疎債のソフト分とはどういう事業が対象となるのか。

答 通常地方債は建設等のハード的なもののみ使用できるが、ソフト分は、その枠組みがなく、上信電鉄への補助や、病院負担金などソフト事業分にも使用できる。通常の過疎債とは違い、市町村の財政事業により前年度に翌年度の借り入れの上限が定められ、他団体の借り入れ状況で、余裕があれば2倍まで借入れが可能。今回は5,250万だが、約1.5倍の7,820万円の借入となった。

問 子宮頸がんワクチン接

種利用者がいないようだが、予防接種で予防できるならいいと思うが。

答 中学1年生女子の保護者に通知している。接種希望の場合は、保健センターで再度説明をするが、昨年度は接種実績なし。現在厚労省でも審議中で、積極的勧奨は差し止め中である。

問 放射性物質汚染対策事業の内容について説明を。

答 空間線量測定器校正で20万7千円、仮置場監視業務と空間線量町内80か所の測定業務委託421万円を支出している。

問 小坂生活改善センターの扱いはどうなのか。

答 現在普通財産の取り扱いで、財政係の管理となっている。今後の活用はしない方針のため、取り壊しを考えている。

問 ※定期接種の県内相互乗り入れとはどのような事業か

答 予防接種委託は、富岡市甘楽郡医師会と契約。その契約料金が県内の他の医師会会員医療機関でも、町の住民が予防接種を受けられる仕組み。群

馬県医師会と県内相互乗り入れ契約を結んでいる。

問 遊休農地対策の支出の説明を求め。

答 ふれあい農園として30年度末時点で、馬山は16区画中3区画、小坂は14区画中10区画貸し出し。修繕料4万9千円、農園管理委託料として馬山、小坂、各2万円、賃借料は町から所有者への借地料である。



下小坂ふれあい農園

問 町全体の問題として、遊休農地対策に取り組む必要があると思うが。

答 農業委員会も承知している。農業委員会と相談して対策を進めたい。

問 除草されていない農地が増加し、枯れ草は火災

発生の原因ともなる。景観整備の観点からも計画的に対策が必要。農地は生活圏に密接に関わることなので、積極的な対応を望む。

答 広報等でも周知している。管理されていない農地については、各農業委員より声掛けを実施する等の取り組みを行っている。

問 ぐんま緑の県民基金事業は歳入1,911万円、歳入475万円で補助率が低い。1/2補助の認識であったが、県全体の事業規模に対する予算枠の都合等で、補助率が変動するのか。

答 補助率は、作業内容毎に面積当たりの単価で定められている。その年の取り組み内容に応じて補助率に差が生じる。指摘通り大変低い補助率となっており、昨年度の実質補助率28・18%に留まる状況。

問 その不足分は全て町一般財源持ち出しとなるのか。

答 その通りであるが、経費の一部に「ふるさと下仁田応援基金」が充当されている。

問 道路に面した箇所森林整備が進む利点もあるが、町の財政に負担を強いる制度に見受けられるが。

答 生活圏近傍の森林整備等を目的とした生活密着の事業であり、各地区からの要望も多く、必要性は感じてはいるが、県の補助率が低く町の財源持ち出しが多くなる点は危惧している。県知事宛の予算編成要望事項として毎年要望書を提出している。

問 この事業が継続される間は管理を必要とする箇所も増加し、益々経費が増嵩し補助率低下が懸念されるが。

答 当事業の協定期間は10



土谷沢地内森林作業風景

※予防接種の内、定期接種の種類

B型肝炎・小児肺炎球菌・ヒブ・四種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ）
BCG・MR（麻しん風しん）混合・水痘・日本脳炎・二種混合（ジフテリア・破傷風）・子宮頸がん

年間であり、協定期間は地元管理組合等が草刈等の管理を継続する。管理に対する補助率は更に低く、管理件数が増加する分、補助率低下が想定される。

問 シルバー人材センターの収支と登録人数は。

答 収入2,350万円、支出は2,330万円。登録は平成30年度全体で49名、男性40名、女性9名である。

問 活用で少し収入が増える。公共施設の草刈りを夏の暑いさなか職員が行っている。職員としての専門の仕事がある。シルバー人材に対して、町から施設の草刈りを依頼したことがあるか。

答 旧西中や、社会体育施設グラウンド等である。職員は草刈りに不慣れた部分もある。シルバー人材を活用できればありがたい。

問 街灯のLED整備状況は。

答 町内の街灯は全体で1,073基あり、内LED691基、蛍光灯365基、水銀灯17基を管理している。LED化で電気料が下

がると思うが。

答 以前はかなり安価になったが、今はその割に下がらない。

問 緑ヶ丘団地の入居状況は。

答 10戸入居中である。

問 耐震診断はしたのか。

答 昭和47年築簡易耐火構造で、耐震診断が出来ないと建築士事務所協会に聞いている。

問 ブロック構造が一番弱い。万が一何かが起こったら町はどうする。

答 入居者に対し、しらかば団地、吉崎団地への転居を勧奨している。

◆平成30年度国保特別会計歳入歳出決算認定

【歳出】 診療報酬支払先の、町内外比率と医療機関毎の額を把握しているか。

答 西毛病院が一番多く、下仁田厚生病院、富岡総合病院の順である。西毛病院は、長期入院精神病患者が多いのが理由と思われる。

【歳出】

問 介護給付費準備基金の残高は。

答 現在1億3,331万8,893円。

問 基金の使い道は。

答 介護給付費は国県町の負担金、被保険者からの保険料で賄うが、不足する場合に基金を取崩している。

問 介護保険料は3年に一度見直しがあるが、低年金者が多いので、保険料が高くなるようにしたい。

答 3年に一度保険料の見直しを行っている。令和2年度に計画を作成するため、よく精査したい。

問 保険料収入が2億2,600万円、基金残高が1億3,300万円余りで、保険料の半分程度で、基金があるが、適正額はないか。

答 基金適正額の決まりはないが、給付費から考えると4〜6千万円くらいが適切と考えている。

問 基金が多いということではないか。

答 給付が思ったより伸びなかったため、多くなっている。

◆平成30年度水道事業会計利益の処分及び決算認定

【歳入】 営業外収益のその他雑収益74万8千円の内容は。

答 原発事故に伴う東京電力からの水質調査損害賠償金等である。

【歳出】 放射性物質測定結果は。

答 測定値以下のため未検出である。

問 放射性物質調査費について東電から全て補償金としてもらっているのか。

答 前年度放射性物質調査費を翌年度に請求し、全額を補償金として貰っている。

問 石綿管はどの位残っているか。

答 平成30年度末現在約1,900m。内訳は高倉川取水導水管750m、跡倉地区配水管250m、清流荘〜明治橋配水管700m、石淵地区配水管200m、現在実施中の水道工事が完了すれば、跡倉地区配水



川井地内水道管布設替工事

管250m、清流荘〜明治橋配水管700mについて除却できる見込み。来年度は、石淵地区配水管入替工事を予算要望予定。高倉川取水導水管は、今後、道路改良工事等に合せて布設替えを実施したい。

問 布設替で使用している管種は鋳鉄管、高密度ポリエチレン管、ビニール管でおこなっている。

答 導水管は、今後、道路改良工事等に合わせ、高密度ポリエチレン管の布設替を実施していきたい。

審議結果

9月定例会（11日～25日開催）

○は賛成、×は反対を表しています。

議案番号	議案名等	議員名	小井土光弘	大手博幸	佐々木信也	岡田邦敏	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	堀口博志	岡田武二	佐藤公夫	審議結果
44	下仁田町監査委員の選任について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
45	下仁田町教育委員会委員の任命について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
46	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47	下仁田町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48	下仁田町税条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	下仁田町地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	下仁田町町営住宅管理条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51	下仁田町町営住宅設置条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
52	下仁田町ふるさと定住促進住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53	下仁田町都市計画区域公共施設等整備基金条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54	令和元年度旧下仁田町立下仁田西中学校解体工事請負契約について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
55	令和元年度町道4333号（目明石）線道路改良工事請負契約について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
56	令和元年度下仁田町一般会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
57	令和元年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
58	令和元年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
59	令和元年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
60	令和元年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
61	令和元年度下仁田町ガス事業清算特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
62	令和元年度下仁田町水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案番号	議案名等	議員名										審議結果	
		小井土光弘	大手博幸	佐々木信也	岡田邦敏	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	堀口博志	岡田武二		佐藤公夫
63	平成30年度下仁田町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	認定
64	平成30年度下仁田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
65	平成30年度下仁田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
66	平成30年度下仁田町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
67	平成30年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
68	平成30年度下仁田町水道事業会計利益の処分及び決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
69	平成30年度下仁田町ガス事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
70	予算決算特別委員会設置に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
71	広報発行特別委員会設置に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
72	少子高齢人口対策特別委員会設置に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	下仁田町内橋梁補修に関する陳情書（陳情第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

（島崎紘一議長を除く11人で採決を行います。）

交流会・行事報告

■下仁田町・佐久市議会
議員交流会

7月27日（土）佐久市佐久平プラザにおいて開催。郷土史家の小林収氏により、「西上州と佐久との交流の歴史」と題して講演をいただき、意見交換会で交流を深めました。



■こんにやく夏祭り



8月14日（水）こんにやく手作り体験道場周辺にて開催。議会は金魚すくいとヨーヨー釣りをし、大勢のお子様楽しんでいただきました。

環境衛生議会・病院議会ニュース

令和元年第2回甘楽西部環境衛生施設組合定例会
（8月22日開催）

・第3号議案

平成30年度甘楽西部環境衛生施設組合歳入歳出決算認定

賛成多数で可決

・第4号議案

令和元年度甘楽西部環境衛生施設組合補正予算（第1号）
全会一致で可決

令和元年第2回下仁田南牧医療事務組合定例会
（7月22日開催）

・第8号議案

令和元年度病院事業会計補正予算第1号

全会一致で可決

・第9号議案

平成30年度病院事業会計決算認定について
全会一致で可決

樋口 篤

(福祉課包括支援係勤務)



私は平成29年10月から西牧地区で高齢者の集いの場・生きがいの場づくりに携わりながら、生活の中で困りごとを聞いてきました。

下仁田町は東京のように物があふれるところではあり



りませんが、生活に必要なものは近所で揃えることが出来ましたし、車があれば不便を感じることはありませんでした。

それに都会にはない豊かな自然があり、空気も澄んできれいです。また下仁田でできる野菜はどれも新鮮なのはもちろん、とても美味しいものばかりです。そして温かい心を持った方々がやさしく迎え入れてくださり、初めての土地でも困ることなく生活を始めることが出来ました。

思いやり・お互い様・助け合いなど、東京ではお金があつても手に入らないものがここにはありました。下仁田町は人間らしい生活を送ることが出来る場所だと感じています。私はこの自然豊かな環境で、心の温かい下仁田の人たちと一緒に生きていきたいと思ひ、定住を決意しました。



そこで、任期終了後も下仁田町に定住すべく、ピザ屋の起業を考えております。なぜかという、私は以前実家のある神奈川のピザ屋で、6年間調理を担当していたことがあります。その経験を生かして薪で焼くピザを食べられるところを作り、下仁田町の皆様に感謝の気持ちを届けていきたいと思ひます。下仁田町の新たな集いの場となれるようなお店作りを心掛け、継続していけるよう頑張りたいと思ひます。

編集室から

日増しに寒さを感じる季節となりました。やがて、各地から霜の便りが聞かれることと思ひます。

いよいよ、美味しい下仁田ネギ収穫の時期を迎えます。すき焼き・天ぷら・鍋物等、毎年のことながら楽しみます。

本誌は、議会改選後の初議会、議会構成、議決内容、予算決算特別委員会での質疑答弁の内容等を掲載いたしました。

2年間は左記のメンバーにて「議会だより」の発行を担当いたします。

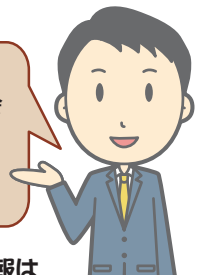
「あなたと議会を結ぶ、確かな情報と信頼」を礎とし、読みやすく、わかりやすい誌面作りに努めます。

佐藤 博

広報発行特別委員会

- 委員長 佐藤 博
- 副委員長 大手 博幸
- 委員 小井土光弘
- 佐々木信也
- 岡田 邦敏
- 堀口 博志
- 岡田 武二

- 編集 佐藤 博
- 印刷 荒瀬印刷株式会社



次の定例会は12月です。議会及び予算決算特別委員会の傍聴ができます。日程などのお問い合わせは ☎64-8810

議会だより・会議録の他、町の情報は下記ホームページでご覧下さい。

<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

■議会だより第86号(令和元年8月1日発行)6ページ「一般質問」町長答弁の中で表記誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。

6ページ1段目一番左から2段目一番右側。

誤「臨時財政対策債で、70%が交付税措置される。」

正「臨時財政対策債で、100%交付税措置される。」